都立高校の魅力向上に向けた今後の対応について

令和４年９月８日
都立学校教育部

1 プログラムの概要

都立高校の魅力向上に向け、新たな課題等に対応するための当面のプログラムを策定

Point① **3つの柱**で**集中的に**施策を展開（令和４年度を含む令和６年度まで）

Point② 取組内容を**毎年度ブラッシュアップ**するなど、状況の変化等に応じて柔軟に対応

プログラムの３つの柱

- **Ⅰ 教育内容の充実**
- **Ⅱ 多様な生徒への支援**
- **Ⅲ 都立高校の特色化等**

2 施策展開に当たり重視する点

都民等からの期待・要望

- デジタルの活用による多様な学び方への対応
- グローバル人材の育成と国際交流の機会拡大
- 探究や研究などの主体的な学びの重視

都立高校を取り巻く現状に関するデータ

- 都内公立中学生の進路状況が多様化
- 都立高校入学者選抜の応募倍率が二極化
- 支援が必要な生徒が一層顕在化

子供政策の加速に向けた論点整理（子供政策連携室との連携）

「未来の東京」戦略 version up 2022

都教育委員会での意見

- 事業の対象をフォーカスし、課題のある所を重点的に施策を展開
- 東京の特色を生かしつつ、生徒の視点を大切にする
- 特に多忙な教員の負担を軽減する一層の取組が必要

東京都教育施策大綱

- グローバル
- 主体的な学び
- 支援が必要な生徒
- 子供目線
- 中学生の進路多様化
- 社会全体でのサポート
- 教員の負担軽減
- DXの推進
- 東京の特色の活用
- 誰一人取り残さない
- 自ら伸び、育つ教育

3 令和4年度の主な取組状況と今後の方向性

		令和4年度の主な取組状況	今後の方向性・目指す姿
Ⅰ 教育内容の充実	TOKYOスマート・スクール・プロジェクトの推進	➤ 保護者負担方式により段階的に一人1台端末体制を整備 ➤「TOKYOデジタルリーディングハイスクール事業」の実施	➤ 生徒が端末を活用して課題解決・価値創造型の教育活動を展開 ➤ デジタルリテラシーを備えた人材の育成 ➤ 様々な体験を通し、主体的に学び続ける態度と総合的な英語力を育成 ➤ 世界と繋がる学習機会の充実により、豊かな国際感覚を醸成 ➤ データ分析を施策へ反映し、効果的な体力向上施策を実施 ➤ 生涯の健康に関する理解を促進
	情報教育の推進	➤ 情報科目の充実を図るための教員支援モデル校事業の実施 ➤「情報Ⅰ・Ⅱ指導力向上研修」（悉皆研修）の実施	
	理数教育の充実	➤ SIP拠点校による理数探究プログラムの実施 ➤ 理数分野に得意な才能をもつ生徒に対する高度な教育プログラムの実施	
	グローバル人材の育成	➤ TOKYO ENGLISH CHANNEL教材の作成・イベントの実施 ➤ 都立高校生の海外交流を実施	
	体力の向上・健康教育の推進	➤ 東京都統一体力テストのデジタル化に向けた準備 ➤ 生涯の健康に関する相談体制等の整備	
Ⅱ 多様な生徒への支援	不登校生徒やヤングケアラー等に対する支援	➤ 都立学校「自立支援チーム」派遣事業の実施 ➤ 都内の学校の教職員向けにヤングケアラー相談窓口を開設 ➤「学びのセーフティネット」事業実施地区の拡充 ➤「社会的・職業的自立支援教育プログラム」事業の実施	➤ 困難を抱える生徒に対する支援を一層充実 ➤ 日本語指導が必要な生徒に対する日本語の効果的な習得と、円滑な学校生活を送るための支援を充実
	日本語指導が必要な生徒に対する支援	➤ 日本語指導の「特別の教育課程」編成・実施に向けた準備 ➤ 多文化共生スクールサポートセンター事業の実施	
Ⅲ 都立高校の特色化等	都立高校の特色化	➤ 工業高校の校名変更に向けた準備 ➤ 工業高校の学科改編等の検討 ➤ 小台橋高校(チャレンジスクール)の開校、立川高校創造理数科の開設 ➤ 通信制課程において、「ＷＥＢ学習コース」を試行実施	➤ 多様な「学び」に対応できる教育環境を整備 ➤ スクールミッション・スクールポリシーに基づいた各校の魅力を更に発信 ➤ デジタルや外部人材等を活用し、教員の負担を軽減
	働き方改革の更なる推進	➤ 統合型校務支援システムの稼働 ➤ 副校長を支援するための人材の配置拡大 ➤ 部活動指導員の配置数を拡大	

都立高校の魅力が一層向上